

総合交通メールマガジン

第66号

平成26年2月21日発行

発行元：国土交通省 総合政策局

総務課（総合交通体系グループ）



目次

総合交通メールマガジンとは

Topics

- ◆生活バス運行による買い物難民対策と地域活性化の取り組み
(NPO法人 生活バス四日市)
- ◆民学官連携による交通まちづくりの取り組み
(合同会社 京都まちづくり交通研究所)

論文紹介

- ◆『都市公共交通を成功させるネットワークデザインー理論と実践』
(長岡技術科学大学 名誉教授 松本 昌二)

総合交通体系グループだより

- ◆兵庫県（豊岡市）地区ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業
(城下町いずし歩行者移動支援協議会)
- ◆島根県（松江市）地区ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業
(松江バリアフリーのまちづくり推進協議会)
(特定非営利活動法人プロジェクトゆうあい)

Information

- ◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！
- ◆～受付窓口の変更がありましたらご連絡ください～





総合交通メールマガジンとは

総合交通メールマガジンは、交通基盤整備や地域交通に関する最新の取り組みを幅広く紹介することを目的として、月一回を目処に発行しているメールマガジンであり、主な購読者は都道府県、市町村等の交通施策担当者となっております。

当メールマガジンで紹介させていただく記事については、執筆者が任意の協力のもとで作成したものであり、成果を広く共有する観点から、二次的利用も可能な形式で掲載しております。

《総合交通メールマガジンのバックナンバーはこちら↓》

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html



Topics

◆生活バス運行による買い物難民対策と地域活性化の取り組み

(NPO法人 生活バス四日市)

NPO法人 生活バス四日市は、三重交通バス垂坂（たるさか）線（当時）の廃止後、主として四日市市（羽津いかるが地区）の交通弱者の生活交通確保のために設立されたNPO法人であり、「生活バスよっかいち」の運行をしています。

単に車を使えない、あるいは使いにくい住民の生活を充実させるだけでなく、地域の新たな公共交通のニーズを開拓するという目標を掲げ、バスを活用した新しい生活スタイルの確立と地域の活性化を目指して、「生活バスよっかいち」の運行に取り組んでいます。

また、従来の公共交通運営の仕組みとは異なり、地域住民が主体となり、地域企業等の協力（パートナーシップ）を得ながら、地域自身が求める公共交通を自分たちの手で企画・運営しています。

《記事はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1402yokkaichi.pdf>

◆民学官連携による交通まちづくりの取り組み

(合同会社 京都まちづくり交通研究所)

京都まちづくり交通研究所は、京都大学の研究者により提案された構想と事業者による商売感覚（市場観察能力）や人的ネットワーク等の協働により、まちづくりや交通に関するプロジェクトを実施し、都市の活性化や交通利便性の向上に貢献することを目的に設立された合同会社です。





同研究所は、「社会への貢献」、「補助金に頼らない」、「継続することで需要を育てる」、「協働のネットワーク」をプロジェクトの方針に据え、『かわらまち・よるバス』を京都市交通局と連携して運行するなど、京都の交通まちづくりに貢献する様々なプロジェクトに取り組んでいます。

《記事はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1402kyoto.pdf>

《合同会社 京都まちづくり交通研究所のウェブサイトはこちら↓》

<http://www.kyoto-lab.jp/llc/index.html>



論文紹介

◆ 『都市公共交通を成功させるネットワークデザイン—理論と実践』

(長岡技術科学大学 名誉教授 松本 昌二)

我が国における都市公共交通に関する書籍・論文では、主として交通需要予測手法を記載しているものが多い一方で、公共交通ネットワークのデザインの理論を記載しているものはほとんど見られない。欧米ではわずかに存在するが、その一つを紹介する。

EUの公共交通研究事業であったHiTransの報告書第二分冊『公共交通—ネットワークを計画する』(2005)は、主著者であるノルウェーのグスタフ・ニールセンが、ヨーロッパの中小都市を対象として公共交通ネットワークを計画・デザインする際の理論を報告している。その要旨は、同著者による第10回Tredbo講演論文『都市公共交通を成功させるネットワークデザイン—理論と実践』(2007)によっても知ることができる。

本論文は、都市の公共交通ネットワーク全体の戦略が策定された後に、その部分に新しい交通システムを選択すべきとしており、「サービス頻度の重要性」、「ネットワーク効果」、「ネットワークの分かりやすさ」を基本として、「乗り換え拠点」、「1区間-1ライン」、「フィーダーライン方式」、「振り子ライン」、「パルススケジュール」など興味ある原理が提案されており、地方都市における公共交通の戦略の検討、バス交通の再編の検討する場合はもとより、LRTやBRTなど新システム導入の検討にも大いに参考となると考えている。

《記事はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1402matsumoto.pdf>





総合交通体系グループだより

◆兵庫県（豊岡市）地区ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業

（城下町いずし歩行者移動支援協議会）

豊岡市出石（いず）町は、出石城の城下町として栄えた町であり、文化庁の伝統的建造物保存地区に選定された古くからの町並みが残る「但馬の小京都」と称される観光地である。一方、出石城跡を始め、車いす利用者や高齢者にとってバリアも多く存在しており、まち歩きや施設見学の支障となっている。また、近年増加している外国人観光客に対して町内観光施設の表記や誘導看板等の多言語表記のニーズに対して、景観を守るために案内看板が設置できず、外国人観光客に向けた案内不足も課題となっている。

こうした背景を踏まえ、城下町いずし歩行者移動支援協議会は、高齢者、車いす使用者、外国人等に対して、観光施設等までのバリアフリールートを表示や案内を行い、誰もが移動しやすい環境を創出するため、歩行者移動支援サービス（「出石かもんナビ」）の導入に取り組んでいる。

《記事はこちら↓》

<http://www.ml.it.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1402izu.pdf>

◆島根県（松江市）地区ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業

（松江バリアフリーのまちづくり推進協議会）

（特定非営利活動法人プロジェクトゆうあい）

島根県松江市は山陰の中核都市であり、松江城、堀川遊覧船等多くの観光スポットがあり、県内外から多くの観光客が訪れています。また、「松江市ひとにやさしいまちづくり条例」を制定するなど、障がい者の自立支援やバリアフリーのまちづくりに関して様々な取り組みを行っており、観光客にとっては訪れやすい、市民にとっては暮らしやすいまちとするためのバリアフリーの情報提供、情報発信が重要な課題であると認識されています。

こうした中で、「松江バリアフリーのまちづくり推進協議会」及び「特定非営利活動法人プロジェクトゆうあい」は、既に運用されているバリアフリー情報総合サイト（「てくてくウェブ松江」）をベースとして、バリアフリー情報、生活便利情報、歩行空間情報を発信するためのウェブシステムの改修、新規アプリ開発を実施し、機能・コンテンツの大幅な充実を図るとともに、その有効性検証のための実証実験を行う予定です。





《記事はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1402matsue.pdf>

《「てくてくウェブ松江」はこちら↓》

<http://tekuteku-matsue.com/>



Information

◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL: <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

引き続き、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、変更内容については、以下までお願いします。

E-mail: soukou@mlit.go.jp

◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！

当課では、情報提供頂いた取り組みをメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取り組みについて情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。更に、イベント案内について、主催者でも結構ですし、耳より情報でも結構です。勉強会や講演会、セミナー等ご紹介頂ければ、当メールマガジンにて案内をさせていただきます。

(情報提供はこちらまで soukou@mlit.go.jp)

【情報提供頂く内容】

例えば、

- ・ 低炭素社会の実現に向けモビリティのあり方を見直す取り組み（交通の再編等）
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取り組み など

※ これまでに、推薦頂いたものも含めて76件の取り組みを紹介させていただきました。

バックナンバー一覧：

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html





◆受付窓口の変更がありましたらご連絡ください。

人事異動等により、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更をご連絡願います。なお、他部署でも楽しんで頂けるよう努めて参りますので、引き続きのご購読も歓迎いたします。(連絡先の追加でも結構です)

なお、変更内容については、下記連絡先までお願いします。

E-mail : soukou@mlit.go.jp

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 総務課 (総合交通体系グループ) 中川 敏正

TEL : 03-5253-8111 (内線53-113)

FAX : 03-5253-1675

E-mail : soukou@mlit.go.jp

URL : <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>

